

歳時記カレンダー

- 1月**
- 元日 初詣(伊佐須美神社)
 - 7日 への御年始(雀林地区)
 - 第2土曜日 奇祭 大横引き(高田地域)
- 2月**
- 25日 文殊大祭(清龍寺文殊堂)
- 3月**
- 春分の日 西勝の彼岸獅子(高田地域)
- 4月**
- 29日 太々神楽花祝祭(伊佐須美神社)
- 5月**
- 最終日曜日 日本最大級 向羽黒山城まつり 炎の郷 向羽黒山城跡 ふれあい茶会(本郷地域)
- 6月**
- 第1日曜日 明神ヶ岳山開き(高田地域)
 - 中旬～末日 あやめ祭り(伊佐須美神社あやめ苑)
- 7月**
- 12日 御田植祭(伊佐須美神社)
 - 19日 高橋の虫送り(高橋地区)
- 8月**
- 第1日曜日 会津本郷せと市(本郷地域)
- 9月**
- 1～17日 伊佐須美神社例大祭(伊佐須美神社)
 - 第3日・月曜日 秋季祭礼(本郷地域)
- 10月**
- 中旬～下旬 ワインフェス(ふれあいの森公園)
 - 27日～11月5日 法用寺 奉納菊花展(高田地域)
- 11月**
- 1日～10日 中田観音 菊祭り大祭(新鶴地域)

特産品



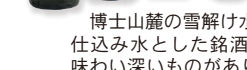
高田梅

高田梅は、旅の僧が、郷里豊後(大分)の梅を植栽したのが始まりです。種が小さくて果肉が厚いのが有りで、カリカリ漬や、割梅の甘味漬、梅酒等おおいと好評です。



高田せんべい

昔ながらの製法で焼き上げる高田せんべいは、香ばしいお醤油の香りとパリッとした軽い食感が特長です。



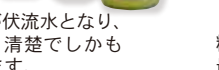
地酒

博士山麓の雪解け水が伏流水となり、仕込み水とした銘酒は、清楚でしかも味わい深いものがあります。



会津本郷焼

四百年の歴史
会津本郷焼
会津本郷焼事業協同組合
TEL 0242(56) 3007
FAX 0242(93) 6035



ぶどう・ワイン

会津美里町のぶどうは糖度が多く、ワインには最適です。



白い発芽胚芽米

会津産コシヒカリ
白い発芽胚芽米は、会津産コシヒカリを100%使用。独自技術で、発芽玄米から胚芽を残し精米、栄養価を下げず食べやすいです。ビタミン、ミネラル、食物繊維、脳の活性化に効果的な「ギャバ」も白米の約12倍!



米沢の千歳桜

樹齢約700年以上のベニヒガンザクラで、濃紅色の花が咲きます。由来は、文永10年(1273)当地の地頭が、娘千歳(常姫)の供養の為、植えたと伝われます。別名「種蒔桜」とも呼ばれ、開花を見て作物の種を蒔くといわれています。

桜の名所



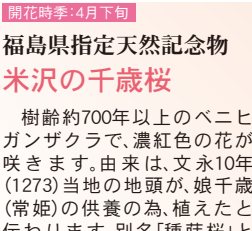
宮川の千本桜

宮川を包むように植えられたソメイヨシノのアーケードです。磐梯山を背景に咲き誇る姿は会津有数の桜の名所として知られています。



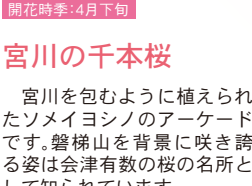
薄墨桜

伊佐須美神社の御神木です。花は薄墨色を含んだ白色で、終わり近くになると中心から紅色になります。4月29日は花祝祭が行われ、花を餅に混ぜて食べる伝統行事です。



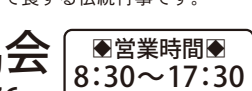
会津美里 米沢の千歳桜

樹齢約700年以上のベニヒガンザクラで、濃紅色の花が咲きます。由来は、文永10年(1273)当地の地頭が、娘千歳(常姫)の供養の為、植えたと伝われます。別名「種蒔桜」とも呼ばれ、開花を見て作物の種を蒔くといわれています。



宮川の千本桜

宮川を包むように植えられたソメイヨシノのアーケードです。磐梯山を背景に咲き誇る姿は会津有数の桜の名所として知られています。



薄墨桜

伊佐須美神社の御神木です。花は薄墨色を含んだ白色で、終わり近くになると中心から紅色になります。4月29日は花祝祭が行われ、花を餅に混ぜて食べる伝統行事です。



あいづげん

2025.8



頼れる美里の案内所

<https://misatono.jp>



会津美里町ポータルサイト

[Instagram]

(一社)会津美里町観光協会

TEL 0242 (56) 4882 FAX 0242 (56) 4876

〒969-6042 福島県大沼郡会津美里町字瀬戸町甲3161-1

会津美里町産業振興課 TEL 0242 (55) 1191 FAX 0242 (55) 1199 <https://www.town.aizumisato.fukushima.jp/>

◆営業時間◆

8:30～17:30

12月～翌3月は火曜日定休

日帰温泉施設

新鶴温泉 んだ



- ◆営業時間:午前8時～午後9時30分
- ◆休館日:毎月第一木曜日 ◆サウナあり
- ◆入館料:大人(中学生以上)700円・小人(小学生)300円
- ◆TEL 0242 (78) 2820

本郷温泉 湯陶里ゆとり



- ◆営業時間:午前10時～午後9時
- ◆休館日:毎週水曜日(祝日の場合は翌日) ◆露天風呂
- ◆入館料:800円・小学生300円・3才以上小学生未満100円
- ◆TEL 0242 (56) 4364



宿泊施設

新鶴温泉 んだ



- 会津盆地が見渡せる高台に位置する温泉施設。四季折々に変化する美しい景色を眺められるのも魅力。会津特産のオタネニンジンを使ったお風呂は身体を芯から温めます。
- ◆営業時間:チェックイン午後2時 チェックアウト午前10時
- ◆休館日:無し
- ◆大研修室・小研修室有り
- ◆利用料金:1泊2日2食付(和室) 8,800円より
- ◆TEL 0242 (78) 2820

せせらぎ公園オートキャンプ場



「湯陶里」に隣接する「せせらぎ公園オートキャンプ場」は、気軽なデイキャンプから本格格的なロングステイまで楽しめます。子供からお年寄まで遊べるグラウンドゴルフ場(全16ホール)も完備しています。

- ◆営業期間:4月1日～11月30日 ◆TEL 0242 (57) 1225

蓋沼森林公園(ふたぬましりんこうえん)



- 沼周辺の森林には、学習舎やログハウス、バンガロー、遊歩道を完備。森林浴やバードウォッチングが楽しめます。沼の中央にある天然記念物「浮島」は、珍しい蜻蛉目も生息する貴重な存在です。
- ◆開園期間:4月20日～11月30日
- ◆利用時間:午前8時～午後5時 ◆TEL 0242 (54) 4793




本郷インフォメーションセンター
〒969-6042 福島県大沼郡会津美里町瀬戸町甲3161-1
TEL 0242 (56) 4637 [営業時間] 8:30～17:30



国宝 一字蓮台法華經

平安時代につくられた一字蓮台法華経は、福島県内に3つしかない国宝の1つで、書き終るまで280年を要したといわれています。経文6万9384字の一字一字を仏と見立て、淡彩のハスの台座に乗せるように写経されています。全長9mほどの貴重な装紙に銀葉を引いた一行17字詰めの体裁をとっています。ハスの台座は岩絵具(緑青・群青・朱・黄土・金・銀泥)で色鮮やかに彩色され、経文字は優雅な和様の細楷で丁寧に墨書されている装飾経です。(道樹山龍興寺所蔵)

『気は長く つとめはかたく 色うすく 食ほそうして 心ひろかれ』



天海大僧正

会津太守蘆名氏の一族と伝わる天海大僧正は、会津美里町高田に生まれました。随風(ずいふう)と号して出家した後、天正18年(1590)頃に無量寿寺北院(川越大師喜多院)で天海を号したとされます。会津蘆名時代は黒川(鶴ヶ城)稲荷の別当職を務め、江戸時代には家康を始め徳川将軍三代に重用され、日光東照宮を創建するなど、多くの業績をのこした近世天台宗の傑僧といわれています。寛永20年(1643)に没したとされ、その5年後、朝廷より慈眼大師の諡号を賜りました。

神々の世の伝説をひもとく、会津路の神社の杜の主。 伊佐須美神社

「古事記」には、北陸道筋を平定した大彦命(オオヒコノミコト)と、東海道筋を平定した建沼河別命(タケヌカワワケノミコト)がこの地で出会ったことから、地名を相津(会津)としたとされています。父子は再会を喜び、会津開拓の祖神として伊弉諾尊(イザナギノミコト)・伊弉冉尊(イザナミノミコト)を新潟県境の御神楽山(天津嶽)に祀りました。これが伊佐須美神社の起源とされています。その後、明神岳を経て、現在の地に遷座して約1500年、会津総鎮守として人々の深い崇敬を集めるとともに、多くの宝物を蔵し、古式ゆかしい神事を今に伝えています。(お問い合わせ先／伊佐須美神社 TEL 0242 (54) 5050)

国指定重要文化財 朱漆金銅装神輿

朱漆木部に金銅板を貼付けてあり、鳥居階段の上の板扉の模様は会津城主蘆名氏の往古御紋。戦国時代に奉納したものです。蘆名氏は相模国の三浦氏を祖に持つ初代の会津城主で、鎌倉時代を迎えて会津に武士の世をもたらしました。(伊佐須美神社所蔵)



宝物殿

国指定重要文化財、朱漆金銅装神輿などを始め伊佐須美神社に伝わる数々の宝物を所蔵しています。(有料)

道樹山 龍興寺

道樹山龍興寺は天海大僧正が出家した天台宗の名刹です。嘉祥年(848～50)慈覚大師により開山され、本尊を阿弥陀如来としています。天海大僧正の父母の墓があり、人々の崇敬の深さと隆盛を極めた寺院であったと古書にも記されています。(国宝拝観は志納、要事前連絡。文化財保護のため、悪天候時は拝観できない場合があります) 道樹山龍興寺 TEL 0242 (54) 2446

「古代蓮」

敷地内の蓮池華芳園の「蓮」は、約2千年前の遺構から見つかった種子を現代に開花させた「古代蓮」です。毎年夏、20種類以上の蓮が咲き誇り各地から大勢の観光客が訪れます。

県指定重要文化財

平安の世から続く古刹

さくだ 左下り観音

会津美里町大門集落の西側、参道を約800m程登った山にあり、間口奥行き共に五間三層で岩山に懸けるようにして建てられていることから「懸造り」と呼ばれており、京都の清水寺を彷彿させる三層閣です。縁起によると天長7年(830)の頃、磐梯山慧日寺の徳一大師が建立し、その後の延文3年(1358)には会津蘆名家の重臣富田氏が修復を加えています。本尊の石仏は観音菩薩で秘仏になっており、古書には延長年間(923～929)の頃から「無頭観音(くびなしかんのん)」と呼ばれていたと記されており、その謂(いわ)れは、越後(新潟県)の者が罪から逃れるため、この地に来て堂内に身を潜め、観音の力を念じていたそうですが、やがて追手に捕まり岩上で首を切り落とされてしまいました。追手はその首を持ち帰り主人に差し出したところ、首は観音の石頭(いしくび)であったそうです。その首の無くなった観音像が秘仏となり今は内陣の岩室に納められています。この三層閣から見下ろす景色は絶景で「海のごと深き麓の霞みな」と中世の連歌にも詠われております。会津三十三観音21番札所。



左下りは岩に攀えて懸造り

いつも絶えせぬ峯の松風

「古事記に綴られた東北地方唯一の物語」

会津美里文化と歴史を歩く

おおひこのみこと

大毘古命は、先の命のまにまに高志の国に罷り行でましき。ここに東の方より遣わしし建沼河別命、その父大毘古命と共に、相津に遣往き遇ひき。かれ其地を相津といふ。―書き下し文(新訂古事記)―

古事記の四道將軍伝説ゆかりの神々の道、博士山と明神ヶ岳の峰々。その麓に会津美里の里はあり、宮川のほとりに高天ヶ原があります。ここ「みさと」は、会津発祥の地です。



巡り来てよもの千里を眺むれば
これぞ会津の中田なるらん

国指定重要文化財

銅造十一面観音像(普門山弘安寺所蔵)

御本尊は十一面世観音菩薩、脇侍は地藏菩薩、不動明王です。一般的に観音様を本尊としたときは不動明王と毘沙門天という配置となりますが、中田観音においては左に不動明王、右に地藏菩薩という全国的に珍しい配置となっています。鎌倉時代の鑄造として、国重要文化財に指定されています。

国指定重要文化財

木造金剛力士立像

仏法護持の守護神・仁王様

巡り来て西を遙かに眺むれば
雨露繁き古方の沼



ケヤキの一本造(雷電山法用寺所蔵)

雷電山法用寺観音堂への入口となる仁王門へ安置されていた木造金剛力士立像は、平安後期の作とされています。両像とも高さ2mを超える巨像ですが、頭部から足先までケヤキ一本から彫り出されています。現在は、雷電山法用寺観音堂内に安置されています。

会津支配四百年、

蘆名氏を語らずに会津は語れない

蘆名盛氏公

(1521～1580)



蘆名盛氏公座像(宗英寺蔵)

桓武天皇を遠祖に、源頼朝の側近、豪勇の武者佐原十朗義連を始祖とする名族蘆名氏の十六代当主です。戦国時代、福島県ほぼ全土を掌握し「蘆名家中興の祖」と呼ばれました。甲斐の武田信玄や関東の北条氏康と同等の盟約を結び「会津に蘆名あり」とその名を轟かせました。



郷土の医聖・野口英世の母シカが願かけ参りをした

普門山 弘安寺(中田観音)

鎌倉中期に江川常俊という長者が一人娘・常姫の突然の死を悼み、その菩提を弔うために本尊を作ったといわれています。観音堂は、弘安2年(1279)に建立されたので弘安寺と称し、本尊は高さ187cmの十一面観音で、日ざり、縁結びのご利益や他所の土に化せずとも伝えられる「土守り(砂守り)」を求める参拝者が絶えません。山門近くの弁天堂の厨子は、かつて本尊の十一面観音を祀っていました。鎌倉期の貴重な厨子で、国の重要文化財に指定されています。また観音堂内には、「だきつき柱」があり、信心の方が抱きつくと何事も念願がかなえられるといわれています。とくに死の床についたとき、長わすらいをしないで往生できることを祈願する、会津のコロリ観音のひとつといわれています。息子野口英世の火傷の治療と立身出世を祈願し母シカが、月まいりしたことでも知られる会津三十三観音の30番札所です。(お問い合わせ先／中田観音 TEL 0242 (78) 2131)

国指定重要文化財

雷電山 法用寺厨子



雷電山法用寺観音堂にあります。鎌倉時代の正和3年(1314)銘の棟札が蔵されており、記年銘の厨子としては、会津最古のものです。

県指定重要文化財

雷電山 法用寺三重塔

雷電山法用寺は養老4年(720)、徳道上人により創建されたといわれる名刹です。境内にある雪国の会津には珍しい、三重塔は安永9年(1780)に完成し、屋根の逓減率(初重から三重までの屋根の大きさの差)が少ない点や、高さも相輪まで含めると20mを越すなど、県内にある三重塔の中でも最も美しい塔といえます。会津三十三観音の29番札所であり、観音堂前にある「虎の尾棹」も有名です。(お問い合わせ先／福泉寺 TEL 0242 (54) 6090／会津美里町観光協会 TEL 0242 (56) 4882)

国指定史跡

日本三大山城・向羽黒山城跡

奥州の覇者 伊達政宗が、そして『兵どもが夢の跡…』
上杉景勝も誇った日本最大級の山城

中世の会津百万石蘆名氏本城 会津太守十六代蘆名盛氏公の居城

会津支配400年を誇る蘆名氏。その中興の祖盛氏公が8年もの歳月をかけて築城した日本最大級の山城です。立地・堅固さなどの重要性から、伊達政宗や蒲生氏郷が要衝として改修し、上杉景勝・直江兼続主従が徳川家康の会津攻めに備えて最後の砦としました。一曲輪の麓まで大型バスが通行可能なほどの巨大さです。観光ガイドによる解説も実施しています。